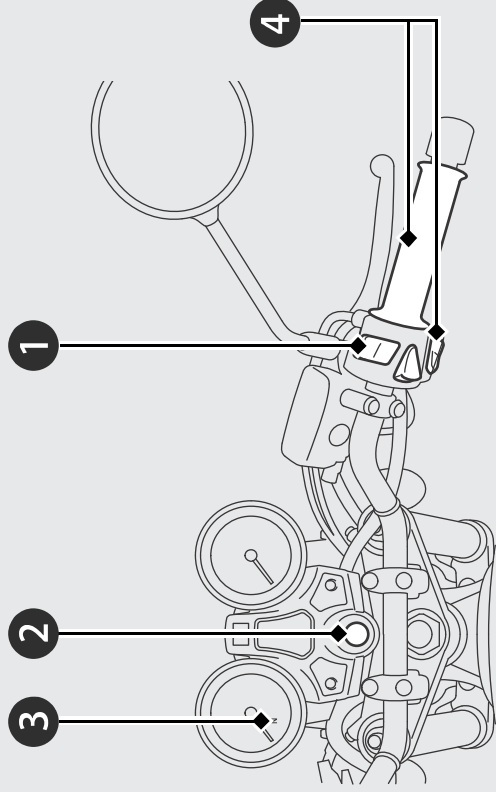



エンジン始動

始動するには、エンジンの温度にかかわらず、次の手順で行ってください。

操作ガイド



- 1 エンジンストップスイッチが  (Run) の位置にあるか確認する。
- 2 メインスイッチを ON に回す。
- 3 ギアをニュートラルにする。(表示灯点灯)
 - ▶ ギアが入った状態では始動しません。ただし、サイドスタンドが格納されている状態でクラッチレバーを握れば始動します。
- 4 スロットルグリップを閉じたまま、スタートスイッチを押す。

アドバイス

- スタートスイッチを押して 5 秒以内でエンジンがかからないときは、一度メインスイッチを OFF にしてください。その後バッテリー電圧回復のため 10 秒ほど経ってからやり直してください。
- 無用な空ぶかしや長時間のアイドリングはエンジンやマフラー、触媒装置に悪影響を与えます。
- 停車中の不必要な空ぶかしや長時間のアイドリングは、ガソリンの無駄使いだけでなく CO₂ 排出などにより環境に悪影響を与えるほか、オーバーヒートによりエンジンが損傷する恐れがありますのでおやめください。
- エンジンがかかっている状態で車両のそばから離れないでください。
- 万一転倒した場合は、一旦メインスイッチを OFF にしてください。再度走行を行う際は、各部の損傷状態や、走行に支障が無いかを十分に確認してください。